

# カノユリの栽培と増殖

## 1 カノユリの栽培

### (1) 球根の植付時期

10月が最適です。遅くとも11月の前半には植えてください。

### (2) 植付場所

腐植質に富んだ排水の良い土壌を好みます。

自生地状況をみると、1日中太陽が当る所より半日陰に近い傾斜地を好むようで、地面に直接陽が当たらない草むらなど（草刈は必要です）で、自然増殖して広がっているのが見られます。

### (3) 植付方法

ユリ類は、球根の下と球根の上の茎から根が出ますが、肥料を吸収するのは茎からでる上根です。そのため上根が十分に張れるよう深く植えることが大切です。また、浅く植えると球根が2つに分球しやすく、だんだん花が少なくなってきます。

深さは、球根の高さ（球高）の2～3倍の深さに、またある程度まとめて植えた方が豪華になるので、5球位まとめて（球根と球根の間隔は、間に球根が2球くらい入る程度）植えましょう。

植付けに当たっては、深さ30cm、直径50cm程度掘り、堆肥（10ℓ）と発酵鶏糞（150g）を混ぜ植え付けます。

植え付け後は、地表面に陽が当たらないように、必ず堆肥や落葉などの有機物でマルチを行い、生育の全般にわたって地面が露出しないように注意しましょう。

### (4) 肥料

肥料は植付時の元肥（上記の通り）と3～4月と6～7月の追肥（化成肥料を各30g）を行い、軽く土と混ぜ有機物でマルチを行いましょう。

## 2 カノユリの増殖

カノユリの増殖は、実生、リンペン繁殖、木子、分球等で行います。ここでは、リンペン繁殖について説明します。

### ○ リンペン繁殖の方法

深さ20cm位のプランターを用いて、培養土を下半分に入れ、その上にバーミキュライトを5cm程度広げ、球根の外側からはぎ取ったリンペンの下半分位をバーミキュライトに挿します。

春になって葉が出るまでは、日当たりのよい室内に置き、時々灌水をしてください。春になって葉が出てくれば、半日程度陽が当たる軒下等で管理してください。



庭に植えられたカノユリ



寄せ植えされたカノユリ



自生しているカノユリ



球根の植付け（深く植えること）



リンペンを剥いだカノユリ



左の写真のリンペンざし